



こどもまんなかトークinいわき短期大学

実施日	令和7年12月17日（水）
場所	いわき短期大学
参加者	いわき短期大学2年生43名
趣旨	子育てに関する情報発信・魅力発信の強化のために学生の意見を聴取
内容	市こどもみらい部インスタグラムにおいて、 ①これまでの投稿について意見をもらう ②学生が動画を作成し、投稿をする →若者目線でお手本となる動画を作成してもらうことで、 市職員の発信力向上につなげる。

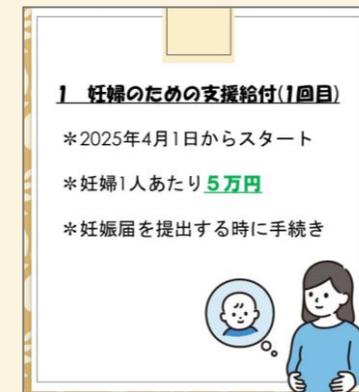


市のこれまでの投稿についての意見

妊娠・出産後の手当

妊娠・出産を考えていたり、子育てに不安があったりする方々にとって嬉しい情報だと思うため、良い情報発信だったと思う。

「いつ」「どこで」「どのように」申請するのかを、流れとして示すと、より実用性が高まると思いました。



こども元気センターのじゃぶじゃぶ池

雰囲気明るくて、夏という季節にぴったりの曲だったりいいと思いました。

また、もう少し子供の近くに寄って撮影するとより良いのかなと思います。

じゃぶじゃぶ池の様子がよく伝わって、子どもたちも楽しく遊べるのだなと思いました。

施設の利用時間や時間帯、駐車場などの情報もあると良いと思います。



市のこれまでの投稿についての意見

玉川幼稚園の芋ほり

季節行事である芋ほりの様子が写真や文章からよく伝わり、子どもたちが自然に触れながら楽しんでいる姿が分かる点がとても良いと思いました。

芋ほりを通して「どんな力が育ったのか」「子どもたちの成長した姿」を具体的なエピソードとして紹介すると、保護者にとって学びの意図がより分かりやすくなると思いました。



採用1年目保育士へインタビュー

現場で働く保育士さんの声を聞くことができ不安を和らげることができて良かった。また、BGMと投稿内容が合っていて良かった。

保育士さんの声に字幕がつくと、よりわかりやすく伝わりやすいと感じた。

採用1年目の保育士さんの声を取り上げており、就職を考えている人にとって園で働くイメージがしやすい内容だと感じました。

一日の流れや具体的な仕事内容（保育、書類、行事準備など）をもう少し詳しく紹介すると、働く姿がより具体的に想像できると思いました。



学生による動画の作成

子育て施設の動画を学生が作成し、
いわき市こどもみらい部公式Instagramアカウントに投稿しました。



石炭・化石館ほるる



アリオス キッズルーム



いわきっずもりもり



～こどもまんなかトークinいわき短期大学を終えて～

市のこれまでの投稿についての意見として、BGMや字幕、構成の工夫など、普段からSNSに親しんでいる若者目線から意見をもらうことができました。

また、エピソードや仕事内容、施設情報など、投稿に加えるべき要素についての考えも教えてもらいました。

学生さんが作成する動画では、市職員が作成する動画に比べて、動画のテンポや字幕の表現など、子育て施設の楽しさが伝わるような内容のものが多くありました。

また、初めて動画編集をする学生さんが多い中でも、90分という短い時間で動画を完成させるなど、高い技術を持っていることに驚きました。

今回聴取することができた意見や作成してもらった動画を参考にしながら、市としても魅力的な情報発信ができるよう技術向上に努めます。